

令和8年度入学生入試日程 ※受験料は無料です。

内容	推薦・特別推薦	一般入試A日程	一般入試B日程 ※定員に空きがあれば実施
出願期間	令和7年9月1日(月) ～9月26日(金)	令和7年11月4日(火) ～11月28日(金)	令和8年1月5日(月) ～1月30日(金)
試験日	令和7年10月9日(木)	令和7年12月11日(木)	令和8年2月12日(木)
合格発表	令和7年10月20日(金)	令和7年12月22日(月)	令和8年2月19日(木)
試験科目	小論・面接(口頭試問)	小論・数学・面接	小論・面接(口頭試問)
試験会場	第1会場 沖縄県立農業大学校(宜野座村) ※ 県外在住の方は、第1会場での受験です 第2会場 宮古農林水産振興センター(宮古島市) ※ B日程の試験会場は第1会場のみです 第3会場 八重山農林水産振興センター(石垣市)		

授業料・諸経費 ※令和7年度

内容	本科1年・短期		本科2年	
	入寮生	通学生	入寮生	通学生
入学金	無料	—	—	—
授業料※1	約9万		約9万	
校納金※2	約40万	約18万	約37万	約18万
教科書代	約2.7万		—	
実習服等	約2.5万		—	
合計	約54.2万	約32.2万	約46万	約27万

※1 資格取得の費用が別途かかります。

※2 校納金には、寮費(平日食事代・光熱費・Wi-Fi使用料)や教材(道具)費、自治会費などが含まれています。

※3 就農が決まっている方には、沖縄県の給付型就農準備金が月に約12万円支給されます。入学後に説明会があります。

卒業後の進路 ※過去5年間実績

就農	◎自営就農多数 ◎農業生産法人多数
研修	海外派遣農業研修 (アメリカ・オランダ・ドイツ他)
J A	JAおきなわ ※推薦枠あり
公務員	県立農業系高校実習助手 県立農業大学校実習助手 市町村役場
企業	東南植物楽園 (株)熱帯植物管理 (株)沖縄協同青果 (株)くみき (株)琉球肥料 他多数

交通アクセス



【住所】
〒904-1301 宜野座村字松田2982-24

※ 沖縄県立農業大学校まで
直接アクセスできる公共交通機関はありません

【お車の場合】
沖縄自動車道那覇ICより約55分(宜野座ICより約15分)
那覇空港より沖縄自動車道を利用して約75分

【バスの場合】
沖縄バス77番名護東線(名護バスターミナル行)
那覇バスターミナルより湯原(かたばる)バス停まで約130分
最寄りバス停沖縄バス湯原(かたばる)バス停から徒歩15分

【入学・出願に関するお問い合わせ(教務部)】
TEL:098-923-2077 FAX:098-923-2088
✉: xx045110@pref.okinawa.lg.jp



才農は、描き拓き輝く！
沖縄県立農業大学校

〒904-1301 宜野座村字松田2982-24
TEL:098-923-2077 FAX:098-923-2088



☁ 沖縄県立農業大学の教育方針

「沖縄県農林水産業振興計画」に基づき、次代の農業を担う経営感覚に優れた青年農業者等新たな担い手を育成するとともに、地域の農業振興を先導する実践的リーダーを養成します。

このため、農林水産省、県農林水産部、琉球大学、JA、県内外農家、学校、指導農業者等との連携を図りながら、理論と実践を有機的に結合した実践的な研修教育を行います。



未来の農業リーダーを育てるために、多くの専門家から学びます！

☁ 沖縄県立農業大学の特色・魅力

1 農業経営プロジェクト学習

- ①将来の営農計画に基づく研究テーマの設定を行い、農業経営実践を行います。
- ②農業経営上の諸課題を解決する実践的・自主的活動の基本を習得します。

2 先進農業者等体験学習・県内外派遣研修

- ①先進農家の農業経営の手法を習得できる研修プログラムがあります。
- ②多様な農業を実践的に学び、自身の諸課題に気づき、解決に向かう力を育てます。

3 専門家・研究者・先進農家から学ぶ

- ①農業技術、関係法令、簿記、6次産業化、HACCP・GAPなどを学びます。
- ②農業知識・技術に関するネットワーク構築ができます。

4 就農までの手厚いサポート

- ①個々の状況に合わせて、資金・農地取得・収支計画など就農サポートしています。



農大のプロジェクト学習は、学生が自ら農作物の栽培管理や家畜の飼養管理にかかる課題を設定し、その解決に向けて取り組んでいます。
さらに、取り組んだ内容を、科学的に伝える力も学びます。



☁ 野菜専攻（園芸課程本科・短期養成科）

- 本科生は、1人1ハウスを担当し、野菜経営の実践学習をします。
- 短期生は、卒業後の就農目標において個別に課題を設定、基本的な実践力を養います。
- 土づくりから収穫・販売までを学び、生産技術と経営管理能力の習得を目指します。

☁ 主な栽培品目

○ゴーヤー ○トマト ○インゲン ○ナス ○スイカ ○葉野菜 他



☁ 主な修得科目（一部）

- 経営コンサルティング ○農業政策 ○農業機械実技 ○流通とマーケティング ○植物生理
- 土壌・肥料演 ○病虫害・防除演習 ○花卉栽培Ⅰ・Ⅱ ○スマート農業 ○プロジェクトⅠ・Ⅱ

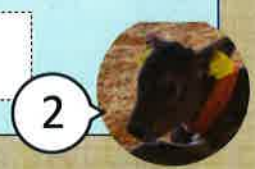
☁ 昨年のプロジェクト学習内容テーマ（一部）

- 「サヤインゲンの栽培技術習得と収益性の検討 ～摘葉が収穫作業時間と収量に及ぼす影響～」
- 「収穫枝連続更新法が沖縄県促成栽培主力品種ゴーヤーの収量と品質に及ぼす影響」
- 「トマト栽培における、紫外線照射を用いた天敵タバコカミカメの施設内分散技術の検討」



☁ 実習計画（一部）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1年生	2年生の補助作業・品目選定			緑肥栽培		元肥施用		▲▲▲▲▲ 定植・播種期間	仕立て・誘引		収穫開始		各種調査	
	耕転			太陽熱消毒			畦立て		ビニール被覆		整枝・剪定・摘葉等の管理作業			
	土壌分析		堆肥		育苗			追肥（週当たり1回程度）						
	耕転			耕転			マルチング		天敵導入		定期防除（2週間に1回程度）			
	収穫・出荷調整			資材の洗浄・片付け										
2年生	蒸しこみ・残渣除去			ハウス引継ぎ	収量等調査 データのまとめ			先進農家 派遣実習		データまとめ 卒論作成			2	
	定期防除（2週間に1回程度）													
	各種調査													



花き専攻（園芸課程本科・短期養成科）

○1人1ハウスを担当、花き経営を実践します。

○切り花、切り葉、観葉植物の栽培管理を実践します。

○新規花き品目導入に関する研究、花き類の種苗生産技術及び経営管理能力の習得を目指します。

主な栽培品目

○トルコギキョウ、ダリア、キンギョソウ等の草花類

○キク類 ○洋ラン ○葉物類 ○観葉鉢物 他

主な修得科目（一部）

○経営コンサルティング ○農業政策 ○農業機械実技 ○流通とマーケティング ○植物生理
○土壌・肥料演習 ○病害虫・防除演習 ○花卉栽培Ⅰ・Ⅱ ○スマート農業 ○プロジェクトⅠ・Ⅱ

去年のプロジェクト学習内容テーマ（一部）

「スターチス・シヌアータの栽培技術習得と収益性の検討

～昼白色LED電球を用いた電照処理が生育および品質へ及ぼす影響～」

「輪ギクとユリの複合品目栽培における収益性と作業体系の検討

～輪ギク新品種「首里の令黄」「首里の加奈」の特性把握～」



実習計画（一部）

品目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
トルコギキョウ 切り花	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
キンギョソウ その他 切り花	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
洋ラン 切り花	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下

＜中早生品種・購入苗＞

トルコギキョウ：収穫（4月）→品種の特性に応じて、2度切り栽培も実施します。→定植（10月）→遮光→追肥（11月）→摘蕾（12月）→収穫（1月）

キンギョソウ：＜12～3月出荷作型＞ 播種（9月）→定植（10月）→収穫（12月）→収穫（3月）

＜デンファレ/エビデンドラム＞

洋ラン：収穫（4月）→置肥（5月）→収穫（6月）→液肥（7月）→バルブ誘引（8月）→収穫（9月）→液肥（10月）→整枝・株分（11月）→置肥（12月）→収穫（1月）



3

果樹専攻（園芸課程本科・短期養成科）

○熱帯、亜熱帯果樹類の栽培と出荷、販売を実践できます。

○数人で複数ハウスを担当します。

○実習や農家視察等を通して基本的な樹栽培の知識や技術、経営管理能力の習得を目指します。

主な栽培品目

◎パッションフルーツ ○マンゴー ○ドラゴンフルーツ 他



主な修得科目（一部）

○経営コンサルティング ○農業政策 ○農業機械実技 ○流通とマーケティング ○植物生理
○土壌・肥料演習 ○病害虫・防除演習 ○野菜栽培Ⅰ・Ⅱ ○スマート農業 ○プロジェクトⅠ・Ⅱ

去年のプロジェクト学習内容テーマ（一部）

「ピタヤ（ドラゴンフルーツ）の栽培技術の習得と収益性の検証 ～摘蕾による収穫期の制御～」

「アテモヤの栽培技術の習得と収益性の検討 ～人工受粉の時間が着果に及ぼす影響～」

「マンゴーの栽培技術習得と収益性の検討 ～天敵利用によるチャノキロアザミウマの防除～」



実習計画（一部）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
パッションフルーツ	生育相 出蕾・開花	果実肥大期	収穫期			主枝伸長期	側枝伸長期	出蕾・開花	果実肥大期	収穫期		
マンゴー	生育相 生理落果期	果実肥大期	成熟期	収穫期		新梢発生期	花芽分化期	出蕾期				
実習内容	摘定 施肥	施肥	摘定 施肥	施肥	施肥	施肥	施肥	施肥	施肥	施肥	施肥	施肥

4

肉用牛専攻（畜産課程本科・短期養成科）

○学生1人に担当牛を割り振り、飼養管理、分娩対応、セリ出荷を行います。

○肉用牛の飼料作物の生産技術や貯蔵飼料の調整等を学び、併せて家畜繁殖、人工授精などの技術習得や経営管理能力の習得を目指します。



主な修得科目（一部）

○経営コンサルティング ○農業政策 ○家畜飼養管理 ○家畜栄養 ○家畜育種 ○スマート農業
○家畜繁殖 ○飼料作物 ○堆肥化処理と堆肥の利用 ○家畜衛生 ○草地管理 ○プロジェクトⅠ・Ⅱ

昨年のプロジェクト学習内容テーマ（一部）

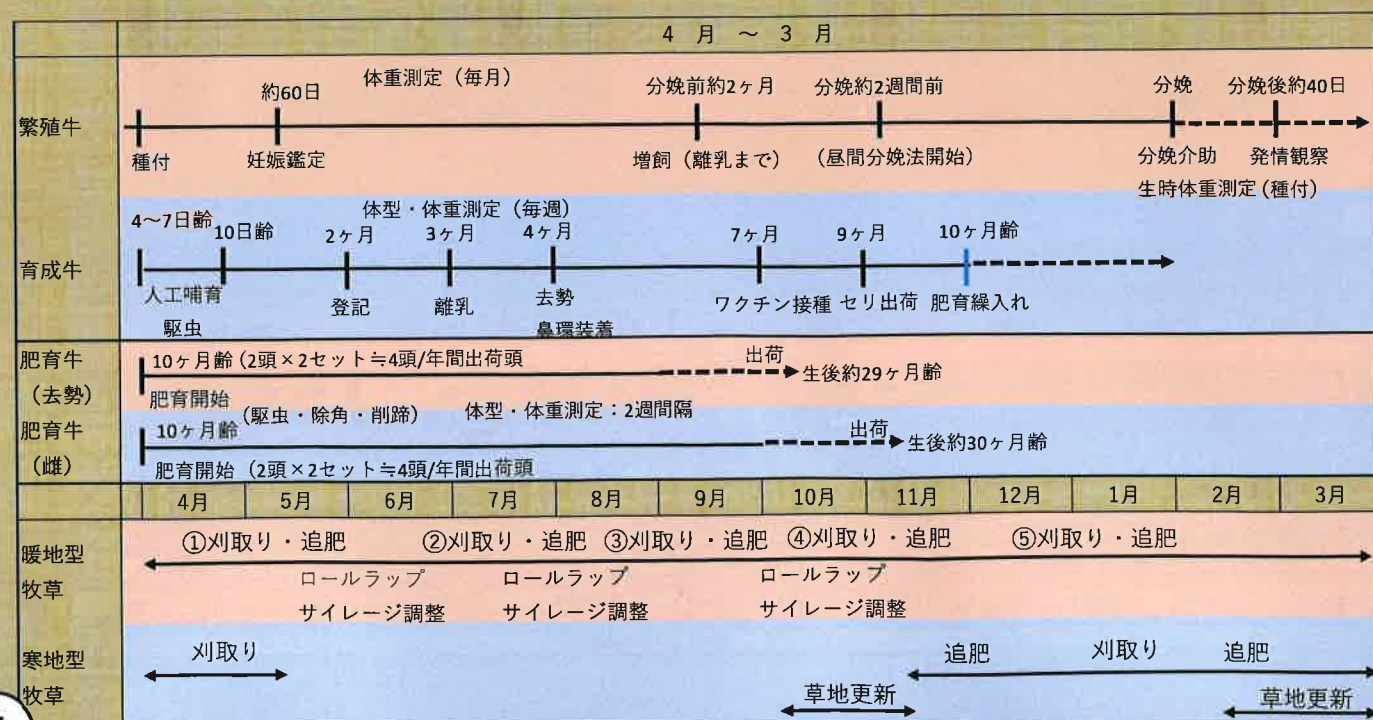
「肉用牛子牛の飼養管理技術習得と収益性の検討 ～堆肥における牧草生育調査について～」

「肉用牛子牛の飼養管理技術習得と収益性の検討 ～代用乳脂肪含量の違いによる子牛の発育～」

「肉用牛子牛の飼養管理技術習得と収益性の検討 ～子牛の早期離乳が発育に与える影響～」



実習計画（一部）



取得できる資格

○大型特殊自動車運転免許（農耕用） ○けん引免許（農耕用） ○フォークリフト運転技能講習
○農業機械士 ○ガス溶接技能者資格 ○アーク溶接特別教育 ○農業技術検定（2級・3級）
○毒物劇物取扱責任者 ○GH農場評価員 ★家畜人工授精師 ★家畜商 ★は畜産専攻のみ



大型特殊自動車運転免許の取得には、マニュアルの普通自動車免許が必要です！

課程・専攻・定員

学 科	本 科	短期養成科※1
研修期間	2年	1年
園芸課程	野菜専攻・花き専攻・果樹専攻	
畜産課程	肉用牛専攻	
入学定員※2	30名 （1学年あたり）	10名

※1 短期養成科は、社会人経験者が受験対象となります
※2 入学時の年齢は、概ね60歳までとなります

学生寮 新築2年目！



※ 基本全寮制です
（事情がある場合は、要入試前に相談）
※ 1人1R部屋、Wi-Fi・冷暖房完備

時間割の例（本科1年生果樹専攻4月のとある週）

	7時45分	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
月		農業概論	専攻実習		機械実習		
火		専攻実習	園芸概論		専攻実習		
水	※2 早朝実習	病害虫・防除演習		果樹栽培Ⅰ	プロジェクトⅠ	情報処理Ⅰ	専攻実習
木		専攻実習					
金		専攻実習					

※1 1コマは、55分授業です ※2 早朝実習は、全員参加です